

文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島—A	種類	集落（久賀島）
名称	外幸泊（そとこうどまり）地区		
住所	五島市蕨町外幸泊地区		
所有者 管理者等	外幸泊（そとこうどまり）町内会		
概要	<p>久賀島東部の外海に面した集落であり、五輪（ごりん）とも呼ばれる。もともとは、海岸部の五輪集落と山側の外輪集落に分かれていたが、急激な過疎化で、現在は海岸部にのみ集落が形成されている。18世紀末に長崎の外海地方から移住してきたキリシタンによって形成された集落であり、カトリック信仰を継承している。</p> <p>集落内には国指定重要文化財「旧五輪教会堂」が所在する。</p>		
本質的価値との 関係	<p>外海に面した集落の点経緯的な集落構造を持つ。</p> <p>18世紀末からの潜伏キリシタンによる移住集落であり、対岸の奈留島のカトリック集落である江上集落との結びつきが確認できる。</p>		
構成要素内の 重要な要素	<p>カトリック五輪教会、キリシタン墓地</p> <p>集落内のヤブツバキ（林）、自然林、里山</p> <p>集落内の里道、排水路、石積、石垣</p>		
文化財等の指定 状況（行為規制 の状況）	<p>国指定重要文化財「旧五輪教会堂」</p> <p>国立公園区域</p>		

現状写真



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島一B	種類	集落（久賀島）
名称	蕨（わらび）地区		
住所	五島市蕨町蕨		
所有者 管理者等	蕨町内会		
概要	<p>久賀島東部の外海に面した集落であり、久賀島では久賀集落に次いで2番目に大きな集落である。生業的には半農半漁であり、対岸の奈留島とも密接な繋がりを持つ集落である。</p> <p>昭和47年に発生した蕨大火により、平地側の集落のほとんどが罹災したため、往時の町並み景観の原形はとどめていないが、被災を免れた山手側には、伝統的な家屋や歴史的石積・石垣が往時の景観を良好にとどめている。</p>		
本質的価値との 関係	<p>外海と内海の両者の特徴を併せ持つ集落。</p> <p>奈留瀬戸を介した奈留島との繋がり、久賀島側の拠点的集落と言える。奈蕨神社と奈留神社の宮司は兼任。</p>		
構成要素内の 重要な要素	蕨神社、栄建寺、集落内のヤブツバキ（林）、自然林、里山		
文化財等の指定 状況（行為規制 の状況）	集落内の里道、排水路、石積、石垣		
現状写真			




文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島一C	種類	集落(久賀島)
名称	小島（こじま）地区		
住所	五島市蕨町小島		
所有者 管理者等	小島町内会		
概要	<p>小島地区がある蕨小島は、蕨集落の東方沖合に浮かぶ島であり面積は 0.3ha と狭小で、日本で一番小さな有人離島である。</p> <p>生業的には漁業集落である。</p> <p>19 世紀末に長崎の外海地方から移住してきたキリシタンによって形成された集落であり、カトリック信仰を継承している。</p>		
本質的価値との関係	蕨地区との密接なつながりを示す離島集落である。		
構成要素内の重要な要素	キリシタン墓地、自然林、里山 集落内の里道、排水路、石積、石垣		
文化財等の指定状況（行為規制の状況）			

現状写真



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島一D	種類	集落(久賀島)
名称	猪之木(いのき)地区		
住所	五島市猪之木町猪之木		
所有者 管理者等	猪之木町内会		
概要	<p>久賀島西半島のちょうど中央部に位置する農村集落である。</p> <p>早くから人が住み着いたことは、久賀島全体の鎮守社である折紙神社が猪之木郷内に創建されていたことから窺い知れる。</p> <p>集落の周囲を農地に囲まれ、また数多くの祠、神社、堂宇などの信仰施設が所在し、現在でもそれぞれの祭祀を連綿と継承しているのも、この集落の無形の要素となっている。また、集落内には伝統的な石積みを利用した家屋や石垣が良好に保全されている。</p>		
本質的価値との 関係	<p>内湾(久賀湾)に面した農村集落である。</p> <p>かつては、島の西海岸の斜面に広大なツバキ林を管理していた。</p>		
構成要素内の 重要な要素	<p>犬卸山ツバキ林、集落内のヤブツバキ(林)、自然林、里山</p> <p>石神神社、岩屋観音、地盤社、山城荒神</p> <p>集落内の里道、排水路、石積、石垣</p>		
文化財等の指定 状況(行為規制 の状況)			
現在の管理状況	地区：18世帯38人(令和2年1月末現在)		
現状写真			

文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島一E	種類	集落(久賀島)
名称	永里（えいり）地区		
住所	五島市猪之木町永里		
所有者 管理者等	永里町内会		
概要	<p>久賀島西半島の久賀湾に面した農村集落である。</p> <p>18世紀末に長崎の外海地方からキリシタンが移り住んだ地区の一つであり、明治以後にカトリックに改宗し、集落内には教会堂も建設されたが、現在は廃堂となっている。</p>		
本質的価値との 関係	内湾（久賀湾）に面した農村集落である。		
構成要素内の 重要な要素	<p>永里教会堂跡、キリシタン墓地</p> <p>集落内のヤブツバキ（林）、自然林、里山</p> <p>集落内の里道、排水路、石積、石垣</p>		
文化財等の指定 状況（行為規制 の状況）			

現状写真



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島一F	種類	集落(久賀島)
名称	大開（おおびらき）地区		
住所	五島市久賀町大開		
所有者 管理者等	大開町内会		
概要	<p>久賀島東半島の付け根部分に位置する集落であり、農村集落である。集落の前面には開墾により広がった田園地帯が広がる。</p> <p>大開集落は、久賀島の他集落の二男、三男により開墾された集落といわれる。尾根を越えた東海岸には集落が保有するツバキ林が所在し、かつては集落全体でツバキ実を採取していた。</p> <p>現在そのツバキ林は、島を代表するツバキ原始林で長崎県指定天然記念物として保護されている。</p>		
本質的価値との 関係	内湾（久賀湾）に面した農村集落である。		
構成要素内の 重要な要素	<p>集落内のヤブツバキ（林）、自然林、里山</p> <p>大開神社、赤仁田教会堂跡、キリシタン墓地、牢屋の窄殉教地</p> <p>集落内の里道、排水路、石積、石垣</p>		
文化財等の指定 状況（行為規制 の状況）	<p>天然記念物：久賀島のツバキ原生林（長浜）</p> <p>国立公園区域</p>		

現状写真



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島一G	種類	集落(久賀島)
名称	久賀（ひさか）地区		
住所	五島市久賀町久賀		
所有者 管理者等	久賀町内会		
概要	<p>久賀地区は、18 世紀中頃から久賀島における行政の中心地となった地区(田ノ浦から代官所が移動)であり、久賀島内では最も人口が多い集落である。現在でも行政、教育、郵便局、農協などの出先機関が集中する。</p> <p>集落内には、歴史的な石積み・石垣が続き、往時の町並み景観を程良く保っている。</p> <p>往時は田ノ浦と共に、オゴ、薪、炭等の集散、積出し地であった。</p>		
本質的価値との関係	内湾（久賀湾）に面した農村集落であり、久賀島の中心的な集落である。		
構成要素内の重要な要素	<p>天満神社</p> <p>集落内のヤブツバキ（林）、自然林、里山</p> <p>集落内の里道、排水路、石積、石垣</p>		
文化財等の指定状況（行為規制の状況）			

現状写真




文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島一H	種類	集落(久賀島)
名称	市小木（いちこぎ）地区		
住所	五島市久賀町市小木		
所有者 管理者等	市小木町内会		
概要	<p>五島におけるキリシタン布教後は島内でもキリシタンの多い地であったが、慶長の弾圧で根絶させられた。その後、移住者によって開拓された久賀島西半島の付け根部分に位置する農村集落である。</p> <p>集落の周囲には、久賀島の生業的特性を価値付ける田園地帯が広がり、久賀島の中でも農業生産が非常に高い集落である。</p>		
本質的価値との 関係	内湾（久賀湾）に面した農村集落である。		
構成要素内の 重要な要素	<p>猿田彦神社</p> <p>集落内のヤブツバキ（林）、自然林、里山</p> <p>集落内の里道、排水路、石積、石垣</p>		
文化財等の指定 状況（行為規制 の状況）			

現状写真



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島一J	種類	集落(久賀島)
名称	田ノ浦（たのうら）地区		
住所	五島市田ノ浦町田ノ浦		
所有者 管理者等	田ノ浦町内会		
概要	<p>田ノ浦地区は、遣唐使船の寄港地として知られた集落であり、島内では最も早くから開けた集落である。かつてはキビナゴ漁で栄え、島内でも裕福な集落であり、江戸時代の半ばまでは行政の中心地であった。</p> <p>往時のキビナゴ漁の様相を現す要素として、キビナゴ地引き網漁で使用したロクロ場が田ノ浦湾内に残されており、自然石を積んだ伝統的な石積み護岸も良港に残されている。</p> <p>福江島と久賀島を結ぶ定期船の発着港でもあり、いわば久賀島の玄関口である。</p>		
本質的価値との 関係	外海に面した漁業集落である。		
構成要素内の 重要な要素	<p>田ノ浦神社、薬師堂、浜脇教会、ロクロ場（地曳網跡）</p> <p>集落内のヤブツバキ（林）、自然林、里山</p> <p>集落内の里道、排水路、石積、石垣</p>		
文化財等の指定 状況（行為規制 の状況）			
現状写真			

文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島-K	種類	集落(久賀島)
名称	外上平（そとかみひら）地区		
住所	五島市田ノ浦町野園		
所有者 管理者等	外上平町内会		
概要	<p>外上平地区は、もともと尾根向こうの内上平とあわせ「上ノ平」という同じ集落であったが、自治会（町内会）を組織するにあたり、尾根を境にして、島内部の集落を内上平、外海に面した集落を外上平とした。</p> <p>久賀島南部に位置し、田ノ浦瀬戸に面している。背後の急峻な山腹から海岸まで棚田景観が続いており、この集落の景観を特徴付けている。</p>		
本質的価値との 関係	外海に面した漁業集落である。		
構成要素内の 重要な要素	<p>集落内のヤブツバキ（林）、自然林、里山</p> <p>集落内の里道、排水路、石積、石垣</p>		
文化財等の指定 状況（行為規制 の状況）			
現状写真			



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	久賀島一L	種類	集落(久賀島)
名称	深浦（ふかうら）地区		
住所	五島市猪之木町深浦、細石流		
所有者 管理者等	深浦町内会		
概要	<p>藩政時代、久賀島には深浦だけに窯百姓がおり、塩づくり、炭焼きに従事していたことが伺える。また海藻の採取（オゴ取り）も行い、藩の記録にも深浦から海藻（オゴ）を買い上げていたことが残っている。</p> <p>細石流地区は、久賀島における潜伏キリシタンの集落の一つで、大開集落と同様に仏教集落との混在集落であり、海岸沿いに形成されていた仏教集落によって開拓されていた生業地を取り囲むように山間部に潜伏キリシタンの集落が形成された。</p>		
本質的価値との 関係	深浦地区は内湾（久賀湾）に面した半農半漁の集落であり、細石流地区は外海に面した漁業集落である。		
構成要素内の 重要な要素	七社神社、塩浜神社、金毘羅宮、細石流教会跡地、キリシタン墓地 集落内の里道、排水路、石積、石垣		
文化財等の指定 状況（行為規制 の状況）			

現状写真



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	奈留島一A	種類	集落(奈留島)
名称	江上（えがみ）地区		
住所	五島市奈留町大串字江神		
所有者 管理者等	大串・江上町内会		
概要	<p>江上集落は島の北西部に位置し、大串湾に面する小さな入江に開けた集落であり、18世紀末～19世紀初頭にかけて五島各地に移住した潜伏キリシタンにより形成された集落である。世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産ともなっており、(奈留島の江上集落)。その狭隘な谷迫地形は、五島列島において潜伏キリシタンが移住先として選択した地形・地勢の典型例であるとの価値付けがなされている。集落内には、大正7年に建設された江上天主堂が所在する(重要文化財)。</p>		
本質的価値との 関係	<p>五島列島及び奈留島の典型的な谷地形に形成された集落であり、集落前面の大串湾、奈留瀬戸を介した生業、交流を示す集落である。</p>		
構成要素内の 重要な要素	<p>家御堂跡(教会堂が建つまでミサの場として利用された民家跡) 集落内の里道、排水路、石積、石垣</p>		
文化財等の指定 状況(行為規制 の状況)	<p>国指定重要文化財「江上天主堂」 五島市景観重要地区「江上地区」</p>		

現状写真



文化的景観の重要な景観構成要素

番号	奈留島一B	種類	集落(奈留島)
名称	大串（おおぐし）地区		
住所	五島市奈留町大串		
所有者 管理者等	大串・江上町内会		
概要	<p>奈留島の北西部に位置している。南向きに開けた大串湾岸に沿った集落で、湾の奥は北方からも野首浦が入り込み、細くくびれる地形をなしている。後方には、急峻な山が迫る。</p> <p>大串湾は、明治後期以降、大串集落の主産業であるキビナゴ漁(地引き網漁)の良好な漁場として利用されてきた。大串集落は奈留島内の漁業という生業の歴史を探る上で貴重な集落と位置づけられる。</p> <p>さらに大串湾入口の西側には、奈留島の地形的特徴であるラグーン(潟湖)が見られる(池塚池)。</p>		
本質的価値との 関係	奈留島における典型的な地形的特徴と生業を示す集落であり、奈留瀬戸を挟んだ久賀島との繋がり深い地区である。		
構成要素内の 重要な要素	薬師堂、中世石塔物 集落内の里道、排水路、石積、石垣		
文化財等の指定 状況(行為規制 の状況)	県指定天然記念物「皴ノ浦のハマジンチョウ群落」 市指定天然記念物「池塚のビーチロック」		

現状写真

